

美深町

武石 今日子

1. 概要

1.1 美深町について

地名の由来は、アイヌ語で「ピウカ」(「石の多い場所」)と呼んでいたことによる。下の町章は、外側の太い線が男性を、内側の細かい線は女性を表し、「ピウカ」の「ぴ」を図案化したものである。町民全体がお互いに手を握り合って、融和団結のもとに明るく住みよい郷土、美深の町の新しい町づくりと町勢の発展を意味して全体の文字を円形にまとめ形象したものである。

図1 美深町の町章



出典：美深町 HP

1.2 歴史

美深町は、平善三郎によって開基されてから100年以上もの時を経て、今に至っている。美深町が開基されてからは山梨磐作が入植し、また、長野県人宮原代太郎が武信組を組織して入村してきた。その後徳島県人折笠原新吉が入地したりと、人の入植が進んでいったことから歴史が始まっている。表1は、美深町のおおまかな歴史的出来事を年表にまとめたものである。

表 1：美深町年表

年	出来事
1899	平善三郎により初めて開拓の鋤が下され、美深町開基。
1901	剣淵外 3 村戸長役場の管轄に属する。下名寄村、増毛支庁（現留萌支庁）から上川支庁に移管。
1907	上名寄外 3 村戸長役場からの分離・独立により下名寄外 1 村戸長役場を設置。
1912	中川村戸長役場を分離。1915 年、二級町村制を施行、村名を下名寄村とする。
1920	智恵文村を分離、美深村と改称。第 1 回国勢調査が行われる。
1923	一級町村制を施行により美深町に改称。
1931	最低気温 - 41.5 を記録。
1943	土地改良 5 ヶ年計画樹立
1947	第 1 期農業復興 5 ヶ年計画樹立
1953	第 2 期農業復興 5 ヶ年計画樹立
1953	天塩川氾濫による大水害
1964	国鉄美幸線開業
1974	乳牛 3000 頭突破記念
1985	美幸線廃止

2. 地理と気候

2.1 位置

美深町は、北緯 44 度 23 分、上川支庁管内の北部中川郡に位置し、稚内市と旭川市を結ぶ JR 宗谷本線・国道 40 号のほぼ中央で、西方に天塩山地、東方に函岳を主峰とする北見山地を望む盆地に開けた町である。また、町内を道内第 2 の天塩川が南北に貫流し、北は音威子府村、南は名寄市、東は雄武町・枝幸町・歌登町、西は雨竜郡幌加内町・中川町に隣接。面積は 672.14k m²の広大な面積を擁していて、そのほとんどが森林である。

図 2：北海道全体から見た美深町の位置



出典：美深町 HP

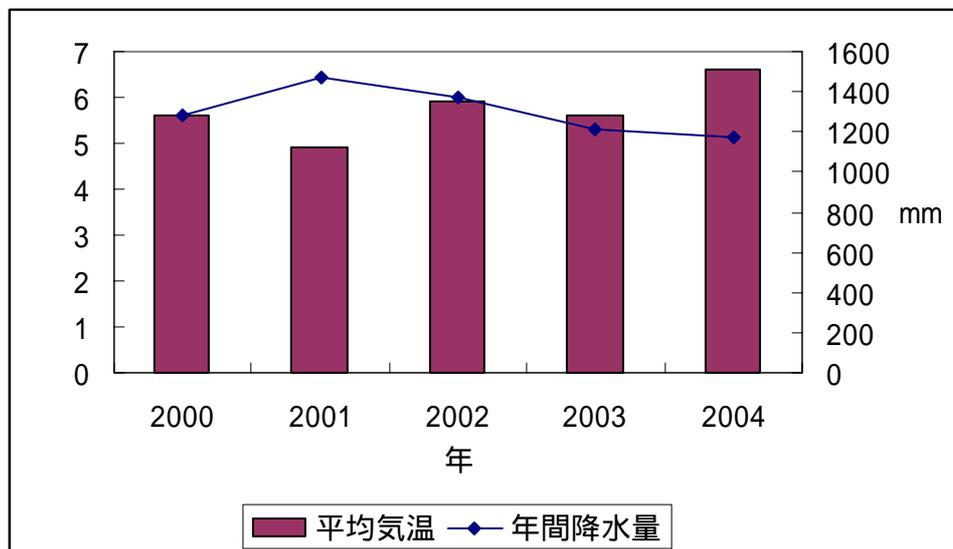
図 3：上川管内全体から見た美深町の位置



出典：わがマチわがムラ 市町村の姿

2.2 気候

図 4：平均気温と年間降水量の推移

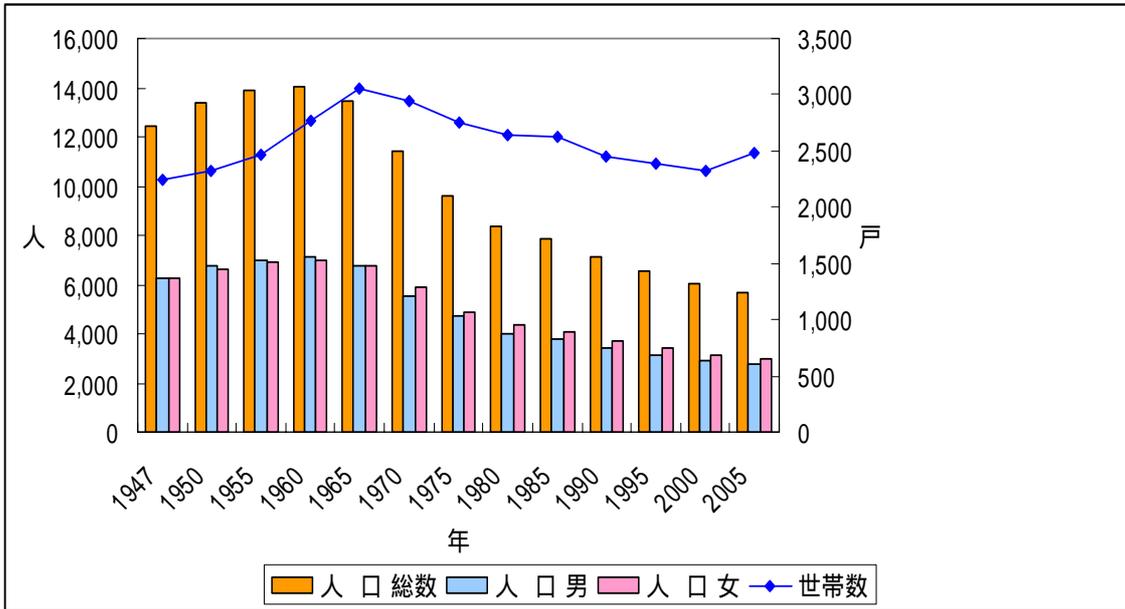


気候は内陸的気候様相を呈しており、冬季は寒気が強烈で、昭和 6 年には最低 - 41.5 度を記録。これは日本一の記録である。春から夏にかけて乾燥し、夏季は温暖、秋は多雨、降雪は早く道内でも多雪地帯として特有な気候条件下にある。その冷涼な気候によって、農家では病害虫も少なく農薬の使用量も最低に抑えることができる。図 4 より、近年、平均気温が低下する傾向にあることがわかる。これは、夏の暑さよりも冬の寒さのほうがなおいっそう厳しくなっていることを意味していると考えられる。逆に、年間降水量は増加しており、そのような厳しい寒さに伴う降雪の増加が原因であるといえる。

3. 人口

図 5 を見ると、美深町の人口は 1970 年から急激に減少してきていることがわかる。2005 年の人口をみると、1947 年の人口の約半分になっており、人口の減少の顕著さを表している。人口減少の原因は、若者が都市へと進出してしまったり、少子高齢化が進んでしまっていることであると考えられる。しかし、人口減少の割に合わず世帯数はそれほど減少率が激しくない。そのため、1 世帯あたりの人数の減少が予想される。男性の人口と女性の人口を比べると、1965 年からは女性の人口の方が多いということも特徴のひとつである。これは、男性が働き手として街などに単身で進出したりしていることが原因であると考えられる。

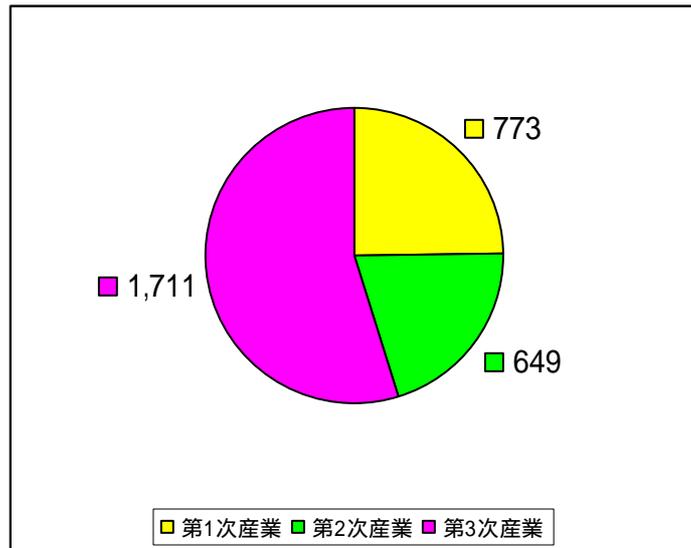
図 5：人口総数と男女別人口および世帯数の推移



4. 産業

4.1 産業別人口

図 6：産業別人口



美深町では、人口の多くがサービス業に就いている。農業や卸売業、小売業、また建設業

に就いている人口も多い。観光などの影響もあってか、飲食店就業者も多くなっている。昔から盛んであった農業は、第1次産業の中では最も盛んであるが、全体としてはサービス業にかなわず第2位となっている。総人口に占める農業人口割合は、1990年から約5パーセント下がっていて、農業人口の低下が進んでいるので、その差は今後さらに広がると予想される。農業などの第1次産業は兼業しなければ生活が苦しく、また、就業しようとする若者の減少も影響していると考えられる。図6より、第3次産業就業者数が一番多く、次が第1次産業、最後に第2次産業であることがわかる。第3次産業は業種も多く、就業しやすいといった特徴も持っていることが要因の1つであるといえる。

4.2 農業

美深町には、2005年に時点で農家数が250戸あり、これは年々減少傾向にある。その原因として、若者の農業就業者数の減少があげられ、実情として、10代から30代にかけての農業就業者は男女とも20人未満である。また、世帯内人数の減少による跡継ぎの不在なども原因であると考えられる。また、人口と同様、農業就業者は男性より女性が多いということも特徴である。耕地面積は田に比べて畑が圧倒的に多いが、畑の中でも牧草場がその半分を占め、残りの半分が普通畑となっている。そのため、生産物の特徴としては、図7より、牧草の生産が著しい。美深町には乳用牛が3970頭、肉用牛が8940頭飼育されており、畜産も盛んであるので、この豊富な牧草はその飼料となっていると考えられる。

図7：農業物生産量

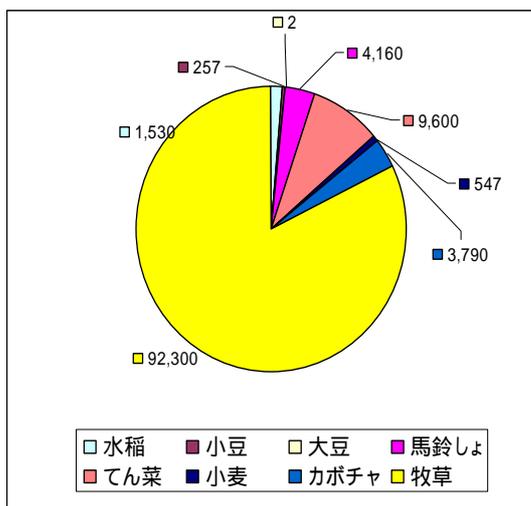
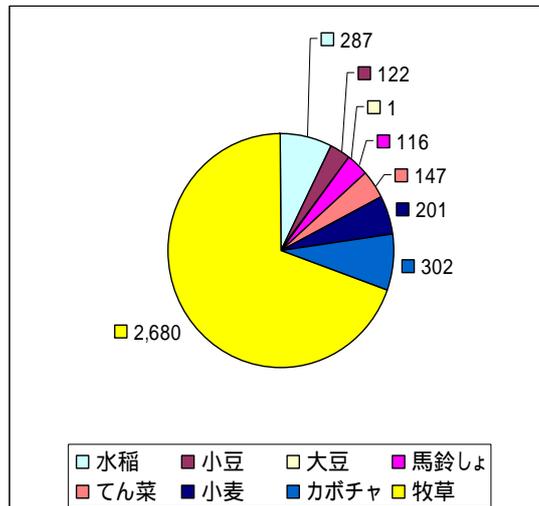


図8：農産物作付け面積

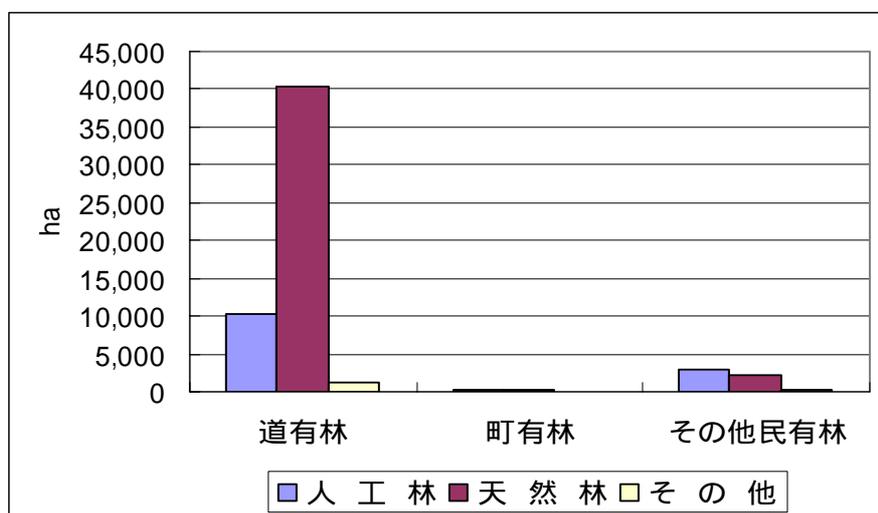


4.3 林業

美深町の林野率は86.5%と非常に高く、町の大部分が森林である。林家数は338戸であるが、そのうち農家林家数が大半を占めている。それは、林業のみでは生計が成り立たない、あるいは農業のみでは生計が成り立たないという現状の現れである。近年、林家数が

増加傾向にあるが、このことは農家から農家林家へ移る人々の増加を意味しているといえる。保有山林規模については、1~5haの林家が約半数であり、残りの半分が5ha以上~50ha未満の林家で占められている。50ha以上を保有する林家は非常に少ない。町の多くが森林といっても、林野面積はピークである1990年からは今なお減少する傾向にあり、林家が所有できる規模も限られてきているのである。林野は道有林が多く、全体的に人工林よりも天然林の方が多いということが図9から読み取れる。人工林が少ないということは、森林減少に対する対策が遅れていることを意味し、これからの林家増加に伴う森林の減少が懸念される。

図9：森林面積



5. 特産品と観光

5.1 特産品

美深町には様々な特産品があり、農業はもちろん、森林も利用した、美深町ならではの特産品がある。農業を代表する特産品として、くりじゃがとくりかぼちゃがあげられる。くりじゃがは「キタアカリ」と呼ばれ、昼夜の寒暖の差が大きい美深町の自然の中で、昼は十分な日照りと暑さでグングン育ち、光合成から多くのデンプンを作り、夜は寒さで活動が抑えられ美味しさが蓄積するため、味も栄養も満点である。中身はクリーム色で、栗のように甘いじゃがいもである。くりかぼちゃは「くりゆたか」と呼ばれ、かぼちゃの中でも特に甘く食感がよいと言われる。火を通すとひときわ黄色味が鮮やかになるのが特徴である。また、森林を利用した特産品は、「森の雫」である。早春、白樺の幹に穴をあけると無色透明な樹液が溢れだし、これをろ過殺菌するだけで添加物が一切入っていない100%

の純粋な白樺の樹液が「森の雫」である。

図 10：くりじゃが



図 11：くりかぼちゃ



図 12：森の雫



出典：美深町 HP

5.2 観光

びふかアイランド

「びふかアイランド」は、美深の街から北へ約 10 km の場所にあり、びふか温泉をはじめ、道の駅（物産展示館「双子座館」）、キャンプ場・コテージ、チョウザメが見られる「チョウザメ館」、体験交流施設「ふるさと館」、ターフゲレンデ、パークゴルフ場、テニスコート、多目的広場などの様々な施設がある。

図 13：びふかアイランド



出典：美深町 HP

びふか松山湿原

日本最北の高層湿原（標高 794 ㍎）で、一帯には多くの湖沼や滝が点在している北海道の秘境の一つ。頂上には幾百年もの歳月に耐えた矮性のアカエゾマツ、ハイマツがまるでオブジェのように辺り一帯に見事な姿を披露してくれる。湿原には 1.2 km の遊歩道があり、北海道の豊かな自然がたっぷり満喫できる。

図 14 : 松山湿原の自然



出典：美深町 HP

参考 HP

美深町 HP: <http://www.town.bifuka.hokkaido.jp/>

第三分科会美深： <http://www.phoenix-c.or.jp/~ryousi/sub55.htm>

Wikipedia フリー百科事典：

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8>

上川支庁 HP： <http://www.kamikawa.pref.hokkaido.lg.jp/index.htm>

わがマチわがムラ： <http://www.toukei.maff.go.jp/shityoson/index.html>

北海道市町村ガイド：

<http://www2.ocn.ne.jp/~abstract/212guide/06kamikawa/bifuka/bifuka.htm>